

前略

お忙しい日々をお過ごしのことと存じます。突然のお手紙で恐縮です。

さて、私ども日本共産党の志位和夫委員長は、四月五日にオバマ米大統領がブラハで「米国は核兵器のない、平和で安全な世界を追求していくことを明確に宣言する」という演説をおこなったことを歓迎し、四月二十八日にオバマ米大統領宛の核兵器廃絶問題での書簡を送りました。書簡を送るにあたりアメリカ大使館を訪問し臨時代理大使に対応していただき、臨時代理大使を通じてオバマ大統領宛の書簡をお渡ししました。

この書簡にたいし、五月十六日に米国政府から志位委員長宛の返書が届けられました。この返書は、オバマ大統領が、グリーン・デイピス米国国務次官補（代理）に指示し、次官補が大統領に代わって書いたものです。志位委員長は、この返書をもって麻生首相と二十日に党首会談をおこない、翌日の二十一日には衆議院の河野議長、参議員の江田議長と会談、二十二日には衆議院の横路副議長とも懇談し、核廃絶をめざすうえで大事な活動だと高い評価をいただきました。

そこで、千葉県内の県知事さん、県議会議長さんをはじめ、各市町村長と議長のみなさんに、「オバマ大統領への書簡」と「オバマ大統領への書簡を発表した際の記者会見の内容」を掲載したリーフレットと「米国政府からの返書」を届けさせていただきました。

お忙しいなかとは存じますが、ご一読いただき核兵器廃絶をめざすうえでのご意見などいただければ幸いです。本来なら、直接お訪ねしてお渡しできればよいのですが、郵送でお届けすることをお許してください。

日本共産党千葉県委員会委員長 浮揚幸裕

各位

二〇〇九年五月吉日

早々